

9月定例会 報告

9月3日(金)~9月28日(火)の26日間

中島りゅうじ 一般質問

慎重に審査した結果、上程された議案や決算承認案については全て賛成といたしました。



耳が不自由です

今回の一般質問は60分間、2つのテーマで質問したため、これまでに掲載してきた討論や活動報告は省略させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

Q.1 森林の保全と災害に強い森づくり

Q&A 森林における開発の現状と課題

Q.質問 森林における違法開発を抑制するためにはどのようなことが課題か？

A.答弁 これまでの森林における不適切な開発行為への対応から、開発の着手前に、いかに不適切な事案を排除できるかが最も大きな課題と考えています。

その対応として、開発の届け出に必要な森林所有者の同意事項を精査し、所有者により一層内容の確認を求めると共に、安易に同意しないよう啓発することが有効と考えています。

また、愛知県や関連部署と連携し、毅然とした姿勢で監視や指導に臨むことで、事業者間で不適切な開発に対する本市の対応が厳しいという認識が広がることも必要と考えています。

不適切な開発事業を未然に防ぐ必要があります。そのためには毅然とした態度で対応すべきだと考えておりますので、不適切な開発行為に対しては愛知県や関係機関との連携を図りながら、市民の安全安心のために条例制定を含め、実効性のある取組を強く期待します。



中島りゅうじの要望・意見

Q&A 森林整備の現状と課題



Q.質問 間伐による過密人工林の解消推進における課題は？

A.答弁 間伐推進の課題として、まず森林整備を担う人材の確保・育成があげられます。特に間伐を担う森林作業員は、技術の専門性や労働環境など課題も多く、業界全体で深刻な人材不足となっています。

また、人工林の健全化に向け、間伐は、おおむね10年ごとに行う必要があるため、間伐を実施した森林の持続的な管理の体制や仕組みづくりも課題となっています。

このため、今後、森林組合を始めとする林業事業者や森林所有者、また、とよた森づくり委員会など、様々な関係者との連携や協議により、課題の解決を図ってまいります。

森林整備を十分に進めるためには人材確保・育成が当然必要になります。しかし、人手不足になると整備が進まなくなるため、整備されていない過密人工林が拡大されてしまい、災害につながる恐れがあるわけです。人材確保・育成は過密人工林の解消に向けて重要です。豊田市としても森林組合をはじめとする林業関係者との連携を密にしながら解決に取り組まれることを期待します。



中島りゅうじの要望・意見